

平成 22 年（2010 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（1 日目）

平成 22 年 12 月 9 日（木）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	前 泊 美 紀 (無 所 属)	1 にぎわい広 場について	にぎわい広場が開設して 5 年が経った。以下、 伺う (1) これまでの総括と課題 (2) 来年 (平成 23 年)、久茂地児童館がにぎわ い広場に一時移転することに向けた方策に ついて (3) チャレンジショップの現状と課題
		2 犯罪被害者 支援について	本市の犯罪被害者支援の現状について伺う (1) 本市で行っている支援について (2) 那覇市安全で住みよいまちづくりに関す る条例について
		3 選挙公報に ついて	本市の今後の動向について伺う (1) 選挙公報を導入する意義について (2) 導入の時期、予算について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	久 高 将 光 (自民・無所属 連合)	都市計画行政 について	平成 22 年 12 月 2 日付けの新聞で、那覇市景観計画の中で首里歴史エリアについて報道があったが、その内容について伺う (1) 景観計画の概要と今後のスケジュールについて (2) 首里地区で 15mの高さ制限をするとあったが、その意義・目的について (3) 高さ制限をすることで都市計画の容積率を使い切れないことはないか。また、首里当蔵町の県住宅公社ビルのように現在 15m以上の建物はどのような取り扱いになるのか (4) 景観形成地域の首里金城地区や龍潭通り沿線地区で赤瓦などの指導を行っているが、その制度と実績について (5) 景観に配慮した赤瓦ぶきについては、固定資産税の負担増につながると思うが、今後とも市民の協力を得るには固定資産税の条例による減免が必要と思われるが、これまでの取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 発達障がい者・児支援について	「発達障害者支援法」に基づいて、具体的な取り組みが求められている (1) 本市のこれまでの取り組みと現状を問う (2) 今ある「発達障がい者支援連絡会議」では施策を具体的に進めていくには不十分である。総合的施策を展開するために「発達支援室」を設置すべきである。当局の見解と今後の計画を問う
		2 保健行政について	日本共産党那覇市議団は、これまでも成人の肺炎球菌ワクチン接種の援助について、重要性和と早急に取り組むべきだと訴え、当局もその必要性を認めてきた。今後の計画と見解を問う
		3 公園行政について	緑ヶ丘公園では、これまで文化財の発掘調査と整備工事が行われている。進捗状況を問う (1) 貴重な文化財の保護や記録など、どのように活用していくのか。対応と見解を問う (2) 市は、今後どのような公園を目指しているのか。市民からの意見はどのように反映するのか、今後の予定と見解を問う
		4 教育行政について	日本共産党那覇市議団は、これまでも小中学生の就学援助制度項目追加と眼鏡代と検診代は早急に助成すべきだと訴え、教育委員会も必要性を認めている。今後の計画と見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	湧 川 朝 渉 (日本共産党)	1 那覇空港での航空自衛隊と市内の米軍機の爆音被害について 2 小禄中の建て替えについて 3 宇栄原保育所の建て替えについて 4 消防力の整備について	(1) 那覇空港における 12 月 4 日の日米共同軍事訓練による航空自衛隊 F15 戦闘機のトラブルについて、見解を問う (2) 国土交通省管理の空港で自衛隊エアーフェスタを行っている空港はあるのか。当局の見解を問う (3) 国内第 7 位の利用者がある那覇空港で、2011 年自衛隊エアーフェスタの実施は危険との認識はないのか。エアーフェスタの中止を求めるべきである。当局の見解を問う (4) ダイバートによる、那覇市内の騒音被害について、当局の見解を問う (1) 建て替え中のプレハブの全ての教室にクーラーを設置すべである (2) 新校舎のクーラー設置は現在の集中型ではなく、個別に対応するマルチ型にすべきである (1) 面積を広くして、待機児童を解消するためにも入所定数を増やすべき。また、独自の調理室も設置すべきである。当局の見解を問う (2) 園児の安全確保のためにも送迎車の一時停止できる場所や駐車場を確保すべきである。当局の見解を問う (1) 消防力の整備指針に基づく、時間以内に到着できない地域の人口は何人で、市域面積の何％か。当局の見解を問う (2) 消防力の整備指針に基づく、時間以内に到着できない地域に消防庁舎を建設すべきである。当局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 那覇市立保育所（鏡原保育所）の民営化について	(1) 市立保育所の民営化状況について伺う (2) 民営化に係る運営法人選考で、提出書類が締め切り後に変更された事実があるのか伺う (3) プロポーザル審査において、締め切り後に提出書類が変更できるのか伺う
		2 久場川団地・公有財産等の管理について	(1) 4月に市民が本市に問い合わせた結果、久場川団地北側に位置する本市管理排水路の一部に、私有地が含まれていることが判明した。いつから使用していたのか。その排水路に同様な事例があるのか伺う (2) 土地の買い上げ、または借地としての使用を考えるべきではないか伺う
		3 石嶺中学校の施設の改善について	(1) 体育館の雨漏り発生の経過とこれまでの修繕状況について伺う (2) 雨漏りが改善されず長期間続いているのは、体育館の屋根等の構造上に重大な問題点があつて、その抜本的な改修が求められているのではないかと伺う (3) 学校の安全対策の上からも、校舎の吹き抜け窓の安全柵の設置と階段への手すりを設置すべきではないか。さらに、校門からの通路は、植栽木の影響で1 m四方のセメント敷が幾つも盛り上がり、木の根っ子が通路にはみ出すなど、歩行が妨げられ車椅子も利用できない状況にある。バリアフリーの立場からも早急な改善が必要ではないかと伺う
		4 交通行政について	市民から要望が強い、市道石嶺線・のまんじゅう入口交差点への信号機設置と、首里りうぼう前への押しボタン式信号機設置（横断歩道）について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	仲 松 寛 (自民・無所属 連合)	教育、福祉行政につて	(1) 本市における児童虐待の状況について 児童虐待の防止等に関する法律、一般的に児童虐待防止法で定める「児童虐待」とは、 1. 身体への暴行、2. わいせつ行為、3. 心身の正常な発達を妨げる減食、長時間の放置、保護者以外の同居人による前記の行為とその行為を保護者が放置すること、4. 著しい暴言、拒絶的対応、著しい心理的外傷を与える言動を行うこと、と定めており、同法に基づく児童虐待の現状について伺う ① 近年における児童虐待の動向について (事件の発生数、内容) ② 未然防止及び対応について (2) 生活保護世帯における児童生徒の学習支援について 低所得や家庭環境が原因で教育機会を失い、貧困が次世代に引き継がれる「連鎖」を防ぐため、生活保護を受けている児童生徒を対象に、自治体が無料学習会を開いたり、塾代を補助するなどの進学支援を行う事例が増えている。学力指導に福祉行政を加味した動きであり、新たな取り組みとして注目される。このようなことから、生活保護世帯における児童生徒の学習支援について伺う ① 生活保護世帯における児童、生徒の学習支援について、自治体において具体的にどのような取り組みがなされているか ② 本市において生活保護世帯における児童生徒への学習支援への取り組みについて
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	山 川 典 二 (改革クラブ)	教育行政について	泊小学校通学区域変更について、以下の質問について伺う (1) 通学区域変更の理由 (2) 平成 19 年、泊小学校から壺屋小学校への通学区域変更方針を示し、保護者・地域住民への説明会を開催したが住民の理解を得られず延期した。その理由とその後 3 年間の対応 (3) 平成 22 年 9 月、泊小学校通学区域について、事前に地域住民に何の連絡もなく教育委員会会議で一方的に議決された。平成 18 年 3 月決定の「那覇市立学校適正配置基本方針」では「通学区域の変更は、関係する保護者や地域の皆さんに周知を図るとともに、説明会を開催し、理解を得て進める必要があります」と規定されている 教育委員会議決審議の際、地域住民の意見は聞いたのか。また、今回の説明会の内容及び当局の見解と地域住民の理解は充分に得られたと思うのか、その理由と根拠を伺う (4) 当初計画に入っていたおもろまち 1 丁目などが予定された通学区域（壺屋小学校通学区）から変更された理由 (5) おもろまち 1 丁目におけるマンション開発業者や関係者から当初計画の壺屋小学校通学区域から泊小学校通学区域への変更する申し出や相談がなかったのか問う。また、市長部局との調整はしたのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(6) 平成 19 年と平成 22 年度の児童数・学級数の推計で児童数の差が約 200 人である。推計内容と根拠は何か (7) 泊小学校通学区域変更の抜本的見直しを求めるが見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	下 地 敏 男 (社社連合)	1 公共サービス充実に向けた職員の処遇改善について 2 消防行政について 3 古島団地問題について	市民が暮らしやすい生活環境をつくるには本市のさらなる公共サービスの充実を図らなければならない。そのためには日々業務に携わる本市職員の職場の安全・衛生環境の整備、労働条件の改善も重要である 2010 年人事院勧告に伴う職員の給与制度見直しについて伺う 本市の救急件数も増加の一途をたどり複雑・多様化が進む都市環境の変化で市民の安心安全を守ることは消防力の強化にほかならない 以下、当局の見解を伺う (1) 救急活動の状況について 21 年度の実数及び 22 年度の予測件数 (2) 現在ある高規格救急自動車の数で救急対応は十分か (3) 消防職員数は適正か 同団地の 133 世帯の住人はパークレー社の一方的な退去通告に反発しており、当初計画の同団地の早期建てかえを強く訴えている 以下、当局の見解を伺う (1) 古島団地（旧郵政団地）に関する推進協議会の進展について (2) 古島団地自治会から財団法人郵便貯金住宅等事業協会元理事翁長市長あての古島団地に関する公開質問に対する回答はどうなっているか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育行政について	本県の完全失業率が8.1%に達し、勤労者の生活環境は最悪の状況になっており、結果、進学に要した奨学資金滞納者が増え、子ども達が学ぶための経費も負担が重くなっている そこで、以下、当局の見解を伺う (1) 那覇市育英会の状況について ① 受給者数について ② 滞納額及び返済困難者への対応について (2) (仮称) 牧志・安里公民館図書館のプラネタリウム観覧料について
		5 公園行政について	公園の果たす役割は地域住民の憩いの場の提供、健康増進及び災害時の避難場所としても整備・管理されなければならない そこで、現在の公園の管理状況並びに整備状況について、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 22 年 12 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	花 城 正 樹 (民 主 党)	1 空手道について	本市の「国際空手道振興基本構想」と仲井眞県知事の公約「空手道会館の建設」について伺う
		2 図書館行政について	(1) 運営の基本姿勢について伺う (2) 今後の展望について
		3 環境行政について	(1) 本市の温室効果ガス（CO2 等）排出削減目標と現況を問う (2) 樹木の保全について伺う
		4 マチグワー活性化について	うりずん横町イルミネーション祭について事業内容を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長